

躍進企業2010 21世紀の選択

シリーズ ユーザー企業レポート



常川社長(右)と牧野取締役

ピー・エス・シー 製本管理システムを導入

(株)常川製本(本社/東京都文京区小石川3-31-9、常川和勇社長)は今年6月、生産管理システムをピー・エス・シー(株)(東京都足立区)の「製本管理システム パワーアップ」に

常川製本

同社は、昭和28年6月の創業。以来、製本業として手作業の時代から手作業で対応することも、製本加工に特化し、顧客ある。機械による生産ニーズへの対応を図るため、多彩な技術を培ってきた。その企業理念は、機械化生産体制が進んだ今日でも守り続けている。

生産面では、手作業と機械化を併用している同

社であるが、その生産管理面においては、約20年前にIBM社の生産管理システムを導入するなど、

「特殊な加工について、製本業としては、かなり早い段階からシステム化を進めていた。」

この取り組みにより、原価計算、作業工程、発注管理など、これまで手書きで行っていた作業は、ほぼ電子化され、同社の運用面に多大な成果をもたらすこととなる。

運用システムを完全移行

上製本メニュー充実させ利便性追求

だが導入から約20年が経過し、ある問題が生じてきた。

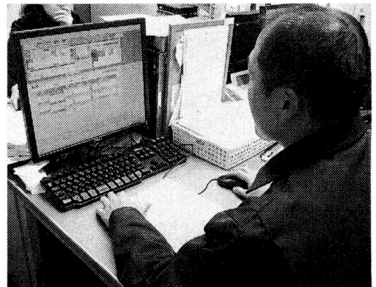
「既設システムは、一タ出力に際しても専用帳票にドットプリンターで打ち出すため、帳票・作業メニューを一から学ばなければならない」という。そのうえでシステムを開発していく、という

同社の発展に寄与してきた。だが、技術革新が進む現在において、その機能は、しだいに旧式なものとなっていた。さらにデータ出力に際しても専用帳票にドットプリンターで打ち出すため、帳票・作業メニューを一から学ばなければならない」という。そのうえでシステムを開発していく、という

「既設システムは、一タ出力に際しても専用帳票にドットプリンターで打ち出すため、帳票・作業メニューを一から学ばなければならない」という。そのうえでシステムを開発していく、という

「既設システムは、一タ出力に際しても専用帳票にドットプリンターで打ち出すため、帳票・作業メニューを一から学ばなければならない」という。そのうえでシステムを開発していく、という

「既設システムは、一タ出力に際しても専用帳票にドットプリンターで打ち出すため、帳票・作業メニューを一から学ばなければならない」という。そのうえでシステムを開発していく、という



新システムにより作業効率が向上

もの。しかしシステム業者から提出された金額と比較にならないくらい安価である。費用を含んだシステムについては、各企業の要望に応じてカスタマイズできることに大きな魅力を感じた。また製本業界で多くの実績があるのだから安心できる。一般的なソフトと、その導入理由について振り返る。

この問題の解消と、さらなる効率化を検討してプログラムを構築すること。牧野取締役は、使い慣れた同社では、当初、使とは非常に難しいという。既設システム機能の慣れた既設システムのことを痛感した常川社長は、移り、そして同社の強

トウェア会社では、製本で振り返る。システム構築に当たり、同社は、テスト期間を設けずに垂直立ち上げで運用を開始した。本社の今後の展開として常川社長は「大量生産、大量

の「製本管理システム」仕様について特に要望したという。「上製本については、あまり実績がなかった。データ入力など、この面においては、特に問題もない。大きく違うのは、やはり操作性である。なお、同社では、印刷

「製本管理システム」仕様について特に要望したという。「上製本については、あまり実績がなかった。データ入力など、この面においては、特に問題もない。大きく違うのは、やはり操作性である。なお、同社では、印刷

「製本管理システム」仕様について特に要望したという。「上製本については、あまり実績がなかった。データ入力など、この面においては、特に問題もない。大きく違うのは、やはり操作性である。なお、同社では、印刷

「製本管理システム」仕様について特に要望したという。「上製本については、あまり実績がなかった。データ入力など、この面においては、特に問題もない。大きく違うのは、やはり操作性である。なお、同社では、印刷

「製本管理システム」仕様について特に要望したという。「上製本については、あまり実績がなかった。データ入力など、この面においては、特に問題もない。大きく違うのは、やはり操作性である。なお、同社では、印刷

「製本管理システム」仕様について特に要望したという。「上製本については、あまり実績がなかった。データ入力など、この面においては、特に問題もない。大きく違うのは、やはり操作性である。なお、同社では、印刷

「製本管理システム」仕様について特に要望したという。「上製本については、あまり実績がなかった。データ入力など、この面においては、特に問題もない。大きく違うのは、やはり操作性である。なお、同社では、印刷

「製本管理システム」仕様について特に要望したという。「上製本については、あまり実績がなかった。データ入力など、この面においては、特に問題もない。大きく違うのは、やはり操作性である。なお、同社では、印刷

「製本管理システム」仕様について特に要望したという。「上製本については、あまり実績がなかった。データ入力など、この面においては、特に問題もない。大きく違うのは、やはり操作性である。なお、同社では、印刷

さらに今回のシステム変更により、消耗品のコスト削減にも効果があったという。

「これまで専用帳票にドットプリンターで出力していたが、現在では、汎用紙と一般的なプリンターで十分なので、専用帳票のコストが完全に無くなったことは、非常に大きなメリットといえる。」(常川社長)。

新たな生産管理システムの導入により、効率運用を高め、社員の育成が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて

「基本的な運用が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて

「基本的な運用が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて

「基本的な運用が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて

「基本的な運用が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて

「基本的な運用が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて

「基本的な運用が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて

「基本的な運用が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて

「基本的な運用が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて

「基本的な運用が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて

「基本的な運用が必須であり、若い従業員を育て、企業力、技術力を高めていくことが重要だと思つて